

国語科学習指導案
題材名「くまさん くまさん」
令和6年10月 第1学年 指導者 遠藤麻希子

I 題材の構想

1 題材観

文部科学省著作本『こくご☆』の題材「くまさん くまさん」は、くまと子供が出会い、握手をしたり一緒に跳躍したりして遊び、「さようなら」と挨拶をしてお別れをするという話の流れである。児童がくま役になり、物語の一場面を簡単な言葉で唱えたり、動作化したりして親しむことができるものである。加えて、「くまさん くまさん」と繰り返す、わらべ歌独特の言葉の響きやリズムを感じることのできる文章であり、くまと子供の動作が生き生きと描かれている。さらに、絵の内容に興味をもち、読み聞かせを楽しむとともに内容を大まかに把握し、教師の話し掛けに応答することができるようになることを意図している。やりとりする中で興味のある言葉、日常生活でよく用いられている言葉をリズミカルに繰り返して児童に伝えていくことにより、自然に言葉が児童になじんでいく。特に「あっぷつぶ」「いっしょにぴょん」の場面は、教師や友達と息や間を合わせてせりふを言ったり、動作を模倣したりすることで、言葉の響きやリズムを楽しみながら発語を促し、言葉の定着を図っていく。

それらを通じて、意思を伝える言葉を考えたり、相手に届くように声の大きさを変えたり、体を大きく動かして伝えようとしたりする態度を養うことができると考え、この題材を設定した。

2 研究との関わり

本学級の3名の児童は互いの存在に気付き、2学期に入ると、休み時間などでは一緒に遊んだり近付いて友達の様子をうかがったりする姿が見られている。一方で授業中は、友達を意識する様子が見られなくなったり友達へ話し掛けることが少なくなったりする傾向がある。そこで、学習の効果を高めたり、友達の学びに気付いたりできるように、自分や友達が映る動画を用いて学習を進めていく。本研究では「自分の思いをもち、友達を意識して表現できる児童の育成」をねらいとし、体験的な活動や魅力的な教材・教具の準備をベースに、視覚支援による学習の振り返りの工夫を通して、主題にある子供の姿に迫っていきたい。

まず、一つ目の手立てとして、授業の展開時における動画視聴の活用を講じる。ねらいに迫る活動の動画を撮影し、活動後すぐに動画視聴を行うことで、児童は自分の動きや友達の様子に気付くことができる。活動する、動画を見る、思いを表現することを繰り返すことで、児童は感想をもったり言ったりすることに慣れ、表現しやすくなるのではないかと考えた。

次に、二つ目の手立てとして、静止画と教具の組み合わせによる視点の提示を行う。授業で使用した教具を静止画や動画に重ねたり結び付けたりすることで、友達の動きや言葉、表情などを動画視聴の着目する視点として示す。そうすることで、より静止画や動画を見ながら友達の様子を意識できるのではないかと考える。国語の授業で一貫して使用してきた吹き出しシートを静止画に重ねて「何と言っているか」に目を向けさせたり、表情カードと静止画の表情を比べさせたりする。静止画や動画だけでなく具体物の教具を用いることは、児童自身が教具を手に取って、思いを表現する助けになると考えた。

3 題材の目標及び児童の実態

	目 標	児童の実態
知識及び技能	・昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる	・絵本は好きであり、絵本や紙芝居の読み聞かせに注目したり、ページをめくりたがったり

	きる。	する。
思考力、判断力、表現力等	・教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。	・読み聞かせ中、教師の問い合わせに応じて、登場する動物などを指で差したり名前を言葉で答えたりしている。 ・教師の簡単な指示を聞いて動いたり、教師のまねをして朝の会の司会をしたりすることができる。
学びに向かう力、人間性等	・言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養うことができる。	・ほしい玩具があるときは、声を出して教師に伝えようとする姿が見られる。 ・友達の名前を呼んだり、呼びかけたりすることがある。

4 評価規準

知識・技能	・昔話などについて、指を差したり声を出したりながら読み聞かせに親しんでいる。
思考・判断・表現	・教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	・言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養おうとしている。

5 指導及び評価、ICT活用の計画（全6時間：本時第4時）

過程	時間	■ねらい □学習活動 ★ICT活用に関する事項	知	思	態	◆評価項目<方法（観点）> ○指導に生かす評価 ●評定に用いる評価
つかむ	1	■普段から友達や教師のまねをして活動していることがあると知り、他者とのやりとりや言葉の伝え方を学んでいくための見通しをもてるようにする。 □休憩時間を過ごす動画や音楽の授業の写真を見る。（★） □言葉遣いや身振りなど、上手に関われなかつた場面を確認する。 □「くまさん くまさん」の読み聞かせを聞き、あらすじを確認する。 □「くまさん くまさん」の歌を聞く。（★）			○	◆動画を見てまねしている言葉を見付けたり関わっている様子に気付いたりするという課題を捉え、発言したり発声で伝えたりしようとしている。 <観察・発言（態）>
	2	■まねをする動きや言葉を確認する活動を通して、題材に親しんで向き合うことができるようとする。 □「くまさん くまさん」の読み聞かせを聞き、あらすじを確認する。 □「くまさん くまさん」の歌を聞く。（★） □題材に出てくる子供とくまの動きや言葉を確認する。ペーパーサートを持	○	○		◆読み聞かせや歌を聞いたり、動きの確認をしたりすることを通して、絵や教師の手本に注目して声を出したり動きを表出したりしている。 <視線・動作・発声（思）>

		たり、子供やくまの絵を指差したりする。				
[題材の学習課題]						
	3	■相手のまねをする活動を通して、自分から言葉や身振りを表出する気持ちをもてるようする。 □くまの動きを確認する。なじみのある動きから取り入れる。 □役割演技を行い、動きや言葉のまねをする。 □教師が子供役、児童がくま役になって行う。希望があれば交替する。 □対友達で交替して行う。一緒に取り組みたい友達を選ぶ。 □動画を見て様子を確認する。(★)	○		◆相手のまねすることを通して、教師や友達をよく見たり、言葉や身振りで考えて伝えようとしている。 <動作・発言(知)>	
[本時のめあて] せんせいやともだちの まねをしよう						
4 (本時)		■新しく考えた動きや言葉を提案したりそれをまねしたりする活動を通して、相手に自分なりの方法で気持ちを表現できるようする。 □場面絵からまねしたい動作を選んだり、新しい動きや言葉を考えて表したりする。 □好きな絵本の場面のまねをする。 □動画を見て様子を確認する。交流する。(★) □動画を見て、気になるところを指差したり思ったことを言ったりする。	○	●	◆新しく考えた動きや言葉を伝え、まねすることを通して、友達をよく見たり友達の動きに応じて身振りを考えたり、友達にまねしてほしいという気持ちを伝えようとしている。 <動作・発言(知)(思)>	
[本時のめあて] ともだちと いっしょに やってみよう						
5		■新しく考えた動きや言葉を提案したりそれをまねしたりする活動を通して、相手に自分なりの方法で気持ちを表現できるようする。 □好きな動きや言葉を、体を動かしたり声を出したりして表現する。 □一緒に活動したい友達を選んだり、クラスのみんなに対して発表したりする。	○	●	◆新しく考えた動きや言葉を伝え、それを相手がまねをする活動を通して、自分なりの思いを伝えることができる。 <表情・動作・発声(思)>	

		<input type="checkbox"/> 動画で振り返る。(★) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> [本時のめあて] うごきやことばを つたえよう </div>			
まとめる	6	<p>■学校生活の中でのやりとりを振り返って確認することを通して、自分の気持ちをもったり伝えたりできるようする。</p> <p>□朝の会の司会のまねや体育のマット運動の動きなどをする。</p> <p>□その動画を見る。(★)</p> <p>□相手の様子を見たり、声を出したりする様子を確認する。</p> <p>□友達の様子を見て、拍手したり指を差したりして気持ちを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> [本時のめあて] ともだちのこと かんがえよう </div>	●	○	<p>◆普段の活動から、友達の動きや言葉に気付き、それを自分なりの方法で応援したり褒めたりしようとしている。</p> <p><観察・動作・発言(思)></p>

II 第4時の学習

1 ねらい

友達と一緒にハロウィンお化けの動きや言葉のまねをする活動を通して、自分なりの方法で気持ちを表現できるようにする。

2 展開

主な学習活動 予想される児童の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 (導入10分)</p> <p>S : 「くまさん くまさん」の歌を聴く。(★)</p> <p>S : 教師や友達と一緒に、動きや言葉のまねをした前時の動画を観る。(★)</p> <p>S : めあて(イラスト)を見て、今日はくまの動き以外にも取り組むことを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <めあて> ともだちと いっしょに やってみよう </div>	<p>○動きや言葉のまねをする国語の学習が始まるこれを意識できるように、「くまさん くまさん」の歌を流す。</p> <p>○前時の学習を思い出せるように、教師や友達と取り組んだ動画を見せる。(★)</p> <p>○めあてで用いたイラストを活用し、友達と取り組むことや教科書に示されている以外の動きに取り組むことを視覚的に示す。</p>
<p>2 ハロウィンのお化けや魔女に変身し、お化けなどに合う新しい動きや言葉を考えて、友達と一緒に体を動かしたり友達のまねをしたりする。 (展開①15分)</p> <p>S : お化けの仮装をした教師を見る。</p>	<p>○ハロウィンやお化けに関する活動に興味がもてるよう、教師がお化け役になって廊下から登場する。</p> <p>○みんなでお化けなどに変身することが分かるように、ミニホワイトボードに顔写真を用意し、その上からお化けや帽子のイラストを重ねて提</p>

<p>S : ハロウィンに関連した歌などの動画を見る。(★)</p> <p>S : 帽子やマントなどの道具の中から、好きなものを選ぶ。</p> <p>S : 「○○ちゃんやりたい」と言って友達を誘う。</p> <p>S : 変身したお化けなどに合う動きを考える。</p> <p>S : 考えた動きや言葉を、相手に分かるように表現する。</p> <p>S : 友達をよく見て、動きや言葉のまねをする。</p>	<p>示する。</p> <p>○好きなコスチュームや道具を選んで伝えられるように、教師が道具の提案をする。</p> <p>○動きなどのイメージがもてるよう、ハロウィンに関する歌を歌ったり本を読んだりし、動きや言葉を促す。(児童から出た動きや言葉を撮影する。)</p> <p>○児童同士のやりとりの場面を動画撮影する。</p> <p>○児童自身が友達にやりたい動きなどを伝えようとしているときには、教師が補助に入り、相手の動きを促したり友達の姿を見るように言葉を掛けたりする。また、教師が率先して動きを提案している児童のまねをする。</p> <p>○児童同士でのやりとりの場面であっても、気持ちが不安定なときや誘ってもやりたがらない児童がいた場合は、無理に取り組ませずに様子を見る。</p>
<p>3 動画を観て、自分や友達の姿を振り返る。 (★) (展開②15分)</p> <p>S : テレビ画面に近付き、自分の姿を指差す。</p> <p>S : 「○○ちゃん」と動画の中から友達を見付けて名前を呼ぶ。</p> <p>S : 「○○ちゃん笑ってる」「○○ちゃん走ってる」と友達の様子を伝える。</p> <p>S : 「すごい」と言って拍手する。</p> <p>S : 「一緒にやろう」と友達に声を掛けることができた姿を見る。</p>	<p>○児童の反応を引き出せるように、動画を観ている間、初めは言葉を掛けずに様子を見守る。</p> <p>○相手に合わせてまねできたことに気付けるように、該当の場面を静止して示し、「△△と言つて声を出しているね」「一緒に手を動かせたね」と具体的に称賛する。</p> <p>○児童が静止画や動画に注目できるように、静止画に吹き出しシートや表情カードを重ねさせて、児童からの表現を待つ。</p> <p>○友達のことを意識できるように、「○○さんは何と言っているかな」「同じ動きができたかな」と問い合わせる。</p> <p>○自分の気持ちを表現できたことに気付けるように、動きをまねした場面だけでなく、友達を誘ったり好きな道具を貸し借りしたりした場面を見せる。</p> <p>○友達に対する言葉が出たときには、友達に対して声を掛けるように促したり、教師が伝えたりする。</p>
<p>※取り組む児童や役割を交替し、2と3を繰り返す。</p> <p>4 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。 (終末5分)</p> <p>S : 動画の画面を指差す。</p> <p>S : 「○○ちゃんとジャンプした」と動画</p>	<p>◆評価項目 友達の姿に対して身振りをしたり発言をしたりして表現している。<動作・発言(知)(思)></p> <p>○まねをする学習をしてきたことを振り返るよう、場面絵やペーパーサート、本時の動画を提示する。</p> <p>○言葉のまねをしたり言葉が出たりしやすいよう</p>

<p>の様子を伝える。</p> <p>S : 同じ動きをしたり、ものを一緒に運んだりしている学校生活の写真を見る。</p>	<p>に、児童の写真と教具の吹き出しシートを用いて「何と言っているかな」と問い合わせる。</p> <p>○児童から動きや言葉が出たら否定せず称賛する。その動きをながら言語化したり、言葉を言い直して確認したりする。</p> <p>○やりとりできるとうれしいことを確認し、次時も新しい動きや好きな動きを取り入れることを伝える。</p> <p>○ほかの動きをイメージしやすいように、学校生活の一場面の写真を提示する。</p>
---	---

3 板書計画



III 備 考

1 他教科等（道徳科、自立活動も含む）との関連

各児童の個別の指導計画では、自立活動における指導内容「コミュニケーション」を取り扱うよう作成しており、各児童に育みたい力と本研究の手立てにより育まれる力には関連性が深い。

2 参考文献、著作権関係等

- ・『こくご☆』特別支援学校小学部知的障害者用 文部科学省 (2024)
- ・『こくご☆ こくご☆☆ こくご☆☆☆ 教科書解説』文部科学省 (2020)